

# 安全な発泡ガラスの製造技術開発

## 特徴

■ 廃ガラスから、重金属の溶出を抑制して発泡ガラスを製造する技術を確立

■ 発泡ガラスは軽量、多孔質であり、水質浄化材、建築資材(断熱材、路盤材料等)をはじめとして多用途の利活用が可能

## 概要

(技術の原理・動作等)

廃ガラスを原料として発泡ガラスを製造する技術が既に実用化されていたが、製造された発泡ガラスから重金属類が溶出することは認識されていなかった。

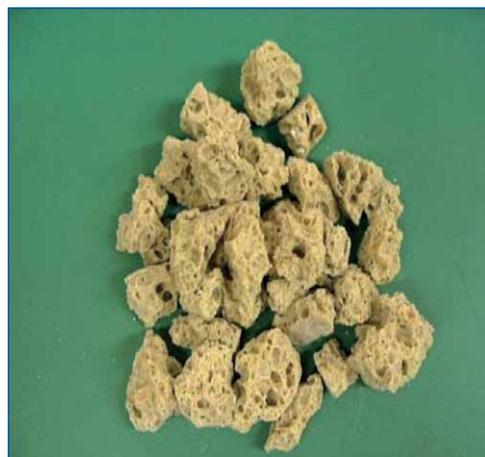
本技術は、発泡ガラスの原料に重金属類の溶出を抑制する添加剤(水酸化カルシウム等)を加えて、一定の条件のもとで発泡ガラスを製造する方法である。

これにより有害な重金属類が環境中に溶け出しにくい発泡ガラスの製造が可能となった。この発泡ガラスは、軽量、多孔質であることから多用途の利活用が可能である。

本技術は環境に対して安全なガラスのリサイクル技術を提供するものであり、様々な廃ガラスを原材料として多用途の利活用を可能とする循環型リサイクル技術である。



歩道用舗装材など路盤材



防犯砂利・園芸用資材・水質浄化材

環境啓発活動

環境ビジネスに関する  
ビジネスマッチング

環境技術システム

中国をはじめとした  
海外との環境プロジェクト

その他

## 導入実績

■ (国内)発泡ガラス製造(企業)1社

## 効果

- ◎重金属類を含むため困難であった廃ガラス類のリサイクル技術への応用が可能
- ◎軽量、多孔質な特性を生かした多用途の利活用が可能
- ◎廃ガラスのリサイクル率の向上に寄与

鳥取県生活環境部衛生環境研究所 リサイクルチーム 〒682-0704 鳥取県東伯郡湯梨浜町南谷526-1

● TEL / 0858-35-5411 ● FAX / 0858-35-5413 ● E-Mail / eiseikenkyu@pref.tottori.jp ● http://www.pref.tottori.lg.jp/eiken/